

🐾仔犬の“今”だからこそやるべきこと🐾

◎しつけは厳しい??NO!しつけは楽しい!!

まず、仔犬のしつけの目的は、飼い主さんと犬が幸せに暮らし、周囲の人に迷惑をかけないようにすることにあります。この、「しつけ」という言葉には悪い行動を見つけ、それを叱ってやめさせるというイメージがありますが、叱って悪い行動をやめさせる方法では仔犬をうまくしつけることはできません。それどころか、飼い主さんとのよりよい関係が築けなくなってしまいます。良い行動を見逃さず、ご褒美を与えて強化するのが最も有効な仔犬のしつけの方法です。ですから、「しつけ」とは飼い主さんにとって「教育する」ということです。そして、愛犬にとっても飼い主さんにとっても教育は楽しいものでなくてはなりません!

◎犬の習性と行動を理解しましょう!

よく犬の習性や行動をお話するときオオカミの行動を例に出しますが、オオカミのライフスタイルは非常にシンプルです。ですが、オオカミを祖先に持っているながら、私たち人間の家族の一員として暮らす犬の生活はオオカミとは大きくかけ離れ、複雑なものとなっています。この、ギャップが犬の問題行動の原因の一つとなっています。野生ではありえないできごとを受け入れ、人間社会の一員として快適に暮らしていくためには柔軟な適応力を持つ仔犬のうちに様々なものに積極的に馴染むことが重要です。

では、どのようにすればいいのでしょうか?

◎ルールをしっかり決めてから教えてあげましょう!

- ・どういう犬に育てるか、どんな飼い方をするのかを決めましょう。
- ・それに基づいてルールを決め、家族全員でルールを守りましょう!
- ＊一人ひとりの言うことがバラバラだと、犬は誰の言うことを聞けばいいのか分からなくなってしまい、だんだん叱られても聞く耳を持たない犬になってしまいます。
- ・しつけに使うサインを決めましょう!
- ・犬に出す声のサインには、紛らわしいものがあります。(マテ、フセ、オテなど)それを犬が区別しやすく理解しやすいように手のサインや、言葉にアクセントをつけると犬が混乱せずに早く覚えることができます。
- ・犬に出すサインは、家族全員で統一しましょう。
- ・一度決めたサインは犬の混乱を防ぐために変えないでください。

◎犬の個性を見極めましょう!

私たち一人一人個性が違うように、犬にも様々な個性があります。よく愛犬の行動や反応をみて、その個性に合った方法でしつけをしましょう。

◎「いいこと」と「悪いこと」

犬は○か×か、白か黒かしか区別がつかえません。犬に△やグレーは通用しないのです。ですから、「今日はお留守番長くしちゃったから…」「お父さんの誕生日だから…」といって普段はよくないことを人間の都合でそのときだけヨシとしても犬にはわかりません。むしろ、混乱を招いてしまいます。「いいこと」と「悪いこと」は一貫していきましょう。

◎「ヨシ」と「イケナイ」

- ・ほめる時も、叱る時も、犬に自分の意思をしっかり伝えましょう！
- ・犬と接するときは、常に愛情と平常心を持ちましょう！

*「怒る」と「叱る」は違います。

*「可愛がる」と「甘やかす」は違います。

◎「ヨシ」と「イケナイ」のタイミング

ほめる時も、叱る時も、すぐにその場で行いましょう！

犬はその時の行動や状況にしか結びつけて考えられないので、タイミングがずれてしまうと、どうしてほめられているのか、叱られているのか理解できずに、誤解してしまう場合もあるので、タイミングを逃さないようにしましょう！

◎将来望む犬とのライフスタイルに必要な項目を書き出してみよう！

例

愛犬としたいこと	そのために必要なこと
ドックランに行きたい！	他の人に馴らす 他の犬に馴らす 呼び戻しができる 知らない人や犬に吠えない・飛びつかない など
ドックカフェに行きたい！	トイレのしつけ おとなしくマテができる ブラッシングができる 知らない人や犬に吠えない・飛びつかない など
一緒に旅行に行きたい！	キャリーバックに長時間いられる 車の音に馴らす 車に乗ることを馴らす 足を拭くことができる 知らない人や犬に吠えない・飛びつかない など

項目が書き出せたら、それらに優先順位をつけます。上位の項目から集中的に覚えさせるとよいでしょう。一度にいくつも行おうとせず、仔犬の様子を見ながら、ひとつずつクリアしていきましょう。

◎飼い主さんの「言い訳」が愛犬の成長を妨げるかもしれません！！

「まだ仔犬だからしつけは早いわよね」「遊びで咬んでいるだけだからほうっておいても大丈夫」「仔犬だからやっているだけで大きくなればやめるよ」……

上のようなセリフを言う飼い主さんがいますが、“仔犬の今だから”柔軟に対応できるのです。そして「大きくなればやめる」という保証はどこにもありません。やってほしくないことは最初からやらせないようにしましょう。

もちろん、仔犬の時期にうまくいかなかったことに、成犬になってから再チャレンジすることもできます。しかし、仔犬の時ほど順応性も適応力も高くないため、すぐに成果を出すことは期待できませんし、仔犬のころの何倍も時間と手間がかかります。

◎ポイントは楽しく過ごすということ

生後3～14週齢位の時期を社会化期と呼びます。この時期は物事に対して非常に順応しやすく、恐怖心を持ちにくい時期でもあります。この時期で将来社会性のある友好的な犬になるか社会性のない問題犬になるか左右されるといっても過言ではありません。

そこで、人間社会で生活していくうえで、起こりうる様々な物事に馴らさなければいけないわけですが、ただ経験させればよいというものでもありません。重要なのは仔犬が楽しくその物事にいいイメージを持たせることです。

もちろん、遺伝的な気質やブリーダーの環境によって底抜けに明るく社交性のある成犬にするのは難しいかもしれませんが、しかし、何もしない時に比べてよい状態にすることは可能です。将来、問題行動を起こさないためにも根気よく取り組むことが大切です。

◎しつけとパピーパーティー

前述したとおり、社会化期の重要な時期にパピーパーティーを行います。パーティーには様々な家族、色々な犬が集まります。同世代の仔犬とふれあい、知らない人がいるという環境はなかなかお家では整えることが難しいかと思えます。そこで、パピーパーティーの中ではいろんな人、犬に慣れ、様々な音や物事に馴らしていきます。そして、飼い主さんとの絆づくりの基礎やしつけをしていくうえでの下地作りをしていきます。もちろん、飼い主さんのニーズに合わせてご要望があれば行っていきます。

パピーパーティーを見つけ参加できる飼い主さんはとてもラッキーだと思います！そして、愛犬もとても幸せだと思います。長くなりましたが、これからよりよいドックライフが過ごせるように一緒に取り組んでいきましょう！！

*上記の事柄や仔犬に関してわからないことや疑問に思ったことなどいつでもお問い合わせください。



Dog & Cat Hospital GALFAR

TEL:022-246-0028